

いぬやま 市議会だより



平成26年
(2014)
4月1日発行

臨時号

((《編集発行》犬山市議会広報委員会 <http://www.city.inuyama.aichi.jp/>)))

市民との意見交換会を開催!!



▲ 民生文教委員会分科会(3ページ)



▲ 総務委員会分科会(2ページ)



▲ 記念講演の様子(2ページ)



▲ 建設経済委員会分科会(4ページ)

主な内容

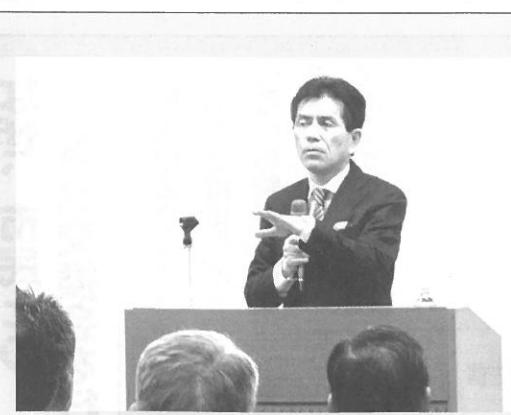
- ▼ 市民との意見交換会 2~4ページ
(市民の皆さんのご意見とその回答)
- ▼ 議員研修会開催 4ページ

1月11日南部公民館にて市民との意見交換会を行ないました。第1部として特別講師の記念講演会、第2部は各常任委員会による分科会を開催しました。第1部・第2部共にほとんどの席が埋まるほど盛況でした。ご参加いただきました市民の皆さんにはこの場を借りてお礼申し上げます。

建設経済委員会 「都市基盤整備を語ろう!」

委員長：久世高裕、副委員長：岡村千里、後藤幸夫、中村貴文、ビアンキアンソニー、柴山一生、三浦知里

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	市民からスマホを使って道路の陥没などの情報提供を受け、短時間でこれに対応しているという取り組みがあるが、犬山市でも取り入れてはどうか。	現状でも通報などがあれば、対応する体制があります。見つけた場合は、市役所までご連絡ください。
2	さとう病院の横の歩道、段差が大きく足を取られる人もおり危険。歩道の整備をしてほしい。	現場を確認しました。重要度を精査しながら進めています。
3	五条川左岸、JAのところは立派なフェンス・道路を作ったが通行量は少ない。今度新体育館ができれば何千人も通る道があるが現在どのように考えているか。	新体育館の建設にあわせて整備を考えています。
4	犬山橋から栗栖への県道について、道路が狭く危険であると以前から指摘しているが改善されていない。	議会としても重要であると考えています。県に引き続き強く要望していきます。
5	コミュニティバスについて、大口町のバスはコマーシャルが入っている。観光イベント情報など地元の情報を載せてPRして盛り上げてほしい。	現状、コミュニティバスの車内には広告スペースが設けられており、活用可能と思われます。車外については今後の検討課題とします。
6	コミュニティバスについて、増車して大変便利になったが、土日運行をしてほしい。往復1便でもよいのでぜひ検討を。	コミュニティバス検討委員会でこれまで料金の改定など改善を進めてきました。今後の課題として進めています。
7	犬山駅からお城へのわん丸バスをつくってはどうか。ワンコインで乗れるバスがあれば観光客の利用も増える。	コミュニティバスの利用について、観光だけでなく、通学での利用も含めて検討していきたいと考えています。
8	富岡新町の広見線の高架下のところ、土のうや砂、不用器具が置いてあって下の道を通ると見苦しい。今はブルーシートがかけてあるが、囲いを作つて外から見えないようにしてはどうか。	現場を確認しました。担当課と協議をしてさらに改善に努めています。
9	国道41号の6車線化に伴い、通過交通も多くなるので道の駅を作つてほしい。6車線化は道の駅を利用する観光客増加や地元農産物販売による農業の活性化のチャンス。	民間からの開発計画の提案もあり、それも含めて研究していきます。
10	新体育館建設の関係でUR(独立行政法人都市再生機構)に委託してやることだが、地元の建設業者は参入できるの	市とURで覚書を交わし、実際に市内の業者が受注したところもあります。今後の委員会としても注視していきます。
11	犬山市は生ゴミ散乱防止ネットが黄色だが、カラス対策のために指定ごみ袋の黄色のものを作つてはどうか。	色も含めて効果的かどうかを調査したうえで検討します。
12	犬山市のマスコットとしてわん丸君のPRをもっとしてはどうか。	ご指摘の通りと考えます。コミュニティバスやバス停留所に掲載するよう努めています。



▲ 講演の様子

議会の機能強化のため、全国で初めて議会基本条例を制定した、北海道栗山町の元議会事務局長の中尾修氏をお招きし「全国に広がる地方議会改革」と題して、議員研修会を開催いたしました。

市議会の更なる進化を目指して!!
(議員研修会開催)

【犬山市議会へのご意見・ご要望などは】

〒484-8501

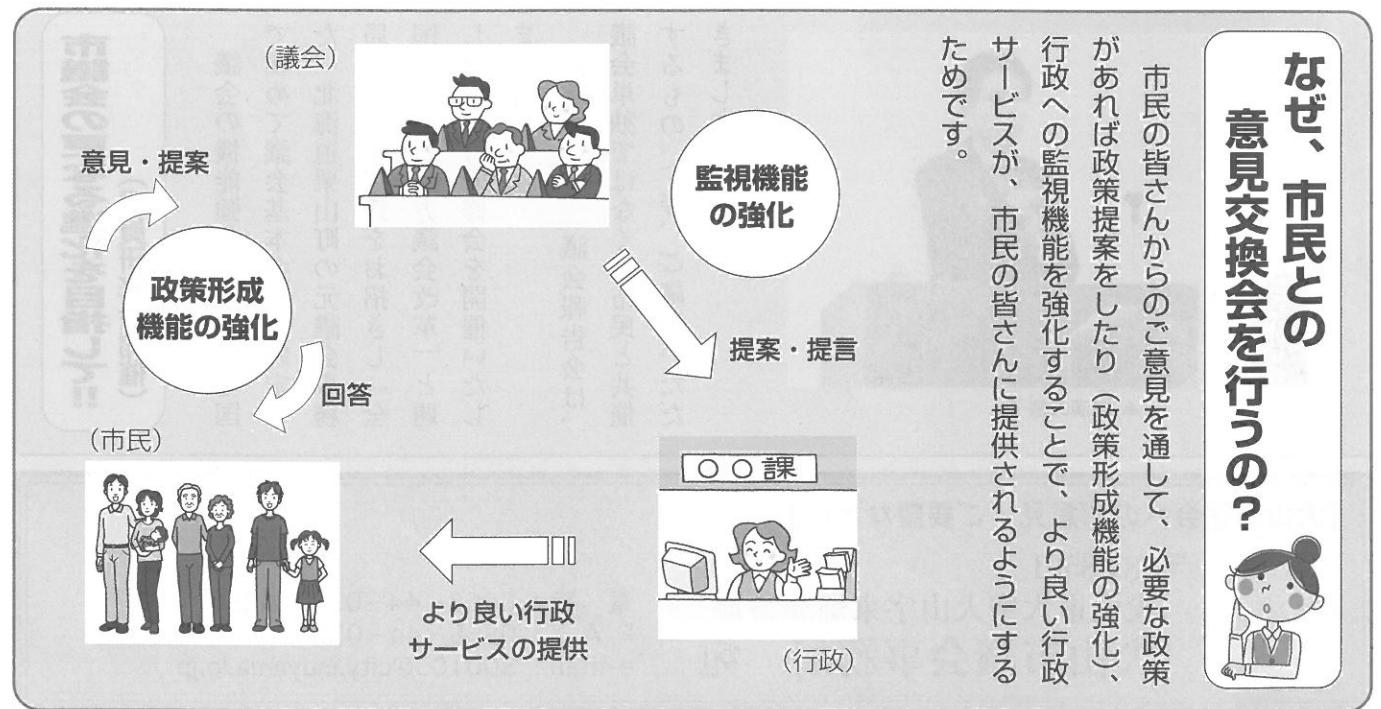
犬山市大字犬山字東畠36番地
犬山市議会事務局 宛

電話：0568-44-0307(直通)
FAX：0568-44-0368
e-mail：300100@city.inuyama.lg.jp

民生文教委員会 「通学路の安全について」

委員長：吉田鋭夫、副委員長：市橋円広、矢幡秀則、大沢秀教、岡 覚、上村良一

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	通学路の除草について、安全確保の面で十分とは言えないのではないか。	多くの県道や市道がありますが、子どもたちのために優先的に回数も含め申し入れていきます。また、地域の人への協力も呼びかけていくため、学校もPTA会員に呼びかけるよう働きかけます。
2	下校時にまだ、暗く不安な場所があるが、街路灯を増やすことができないか。	市としてはLED化で努力していますが、設置条件なども考え、町内会とも連携を図って改善の方向で対応していきます。
3	通学路の距離が長い地区的コミュニティバス通学を検討してはどうか。	今井・池野地区の中学生や一部小学生も含め通学不便の保護者からの声も出ています。コミュニティバスの増便に伴い、全く実行不可能な話では無いと考えます。今後、関係者と研究していきます。
4	楽田地区の鶴池の見通しの悪い五差路の安全対策はどうなっているのか。	平成25年度末までに、路面表示や看板などの交通安全対策等を実施すると聞いています。
5	時間規制の進入車両の対応はどうなっているのか。	地元ボランティアや関係企業に対する協力の呼びかけや、警察署の対応を要請していきます。
6	道路標示の白線が消えかかっている箇所が多い。早めの対応はできないのか。	市から警察との連携を図り、通学路は優先的に対応するよう強く要望していきます。 



平成26年1月11日開催

市民との意見交換会

市民の皆さんのご意見とその回答



第2部は、各常任委員会でそれぞれのテーマについて市民の皆さんと意見交換を行いました。その中の主なご意見について各委員会で見解をまとめましたので紹介します。



▲記念講演（講師：大石邦彦アナ）

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

第1部は、CBCア

ナウンサーの大石邦彦氏の記念講演を行い、その中で「情報を見抜く力が大切。」と講演いただきました。

総務委員会 「犬山の街は元気？ 今克服すべき課題は何か？」

委員長：小林敏彦、副委員長：鈴木伸太郎、柴田浩行、水野正光、山田拓郎、稻垣民夫
※後日、総務委員会で調査した上で見解を示しています。

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	名鉄の観光の撤退について、また、外国人の観光誘客についてどのような状況か聞きたい。	撤退の情報は把握していません。これからも名鉄とは協力関係を持ちたいと考えます。外国人向けには、情報発信のあり方を研究し、提言していきます。
2	犬山市を核として、より安全な町にするため、周辺の市町も含め犯罪を減らす働きかけをするべきではないか。	補助制度、防犯対策を提言していきます。
3	東部丘陵地の開発について、市として明確にどうすべきか決めるべきではないか。	商工会議所を交え、市で研究会をつくっています。議会としても、積極的に取り組んでいきます。
4	コミュニティバスの増便により、高齢者タクシーチケット助成が廃止の方向だが、無料バスを今後、考えてはどうか。	タクシーチケット助成の動向を見極めながら、適切な手段を議会としても検討していきます。
5	本町など観光地を歩行者天国にすることで、町の安全、活性化、高齢者の健康につながるのではないか。	地元住民との対話が不可欠と考えます。
6	近隣市町のように、防犯カメラ設置の助成について、条例等の検討をしてほしい。	設置主体、管理等、詳細な検証が必要なため、地域、警察、市の役割について政策の検討をしていきます。
7	市債を減らし、施設を有効に活用する手段と再任用職員の採用について聞きたい。	議会として、将来を見据え、経営感覚を持って提言していきます。職員体制については、議論していきます。
8	公共施設の利用について、補助団体が減免で補助団体以外は有料では不公平ではないか。	現在、市当局も検討しています。議会としては、ご指摘も踏まえ、当局と議論を深めていきます。
9	市民の活動に対する補助金について、チェックをしっかり行っているか。	適正な活用について、今後も十分精査していきます。
10	高根洞工業団地に公園をつくると聞いたがどうなっているのか。	親水公園として前に進める方向で検討していきます。
11	農業者、市民、消費者がふれあう場の提供など農業の衰亡をどう考えているのか。	大きな課題であり、ステップを踏んでいく施策が必要であるので、総合的に研究していきます。
12	さらさくらの入場料について、市内・市外の差をつけるべきではないか。	他市町の状況を調査し適切な対応について論議していきます。